

【事業実績】

「OPAM 感性共創事業」

県教育委員会および県子ども未来課とのネットワーク事業

- 子どもたちの豊かな感性の育成や美術館を身近な存在と感じてもらうこと等を目的として、県内の学校・園を対象に様々な取組を行った。

① ゆくゆく美術館

実施回数合計：116回

参加者数合計：のべ2,962名

(1) 美術館による学校・施設へのアウトリーチ 73回 1,488名



(2) 美術館による学校・施設往還型ワークショップ びじゅつかんの旅じたく 10回 284名 ・ びじゅつかんの旅 14回 344名



(3) アーティスト招聘による学校・施設へのアウトリーチ 講師：大竹亮峯（美術家） 4回 142名



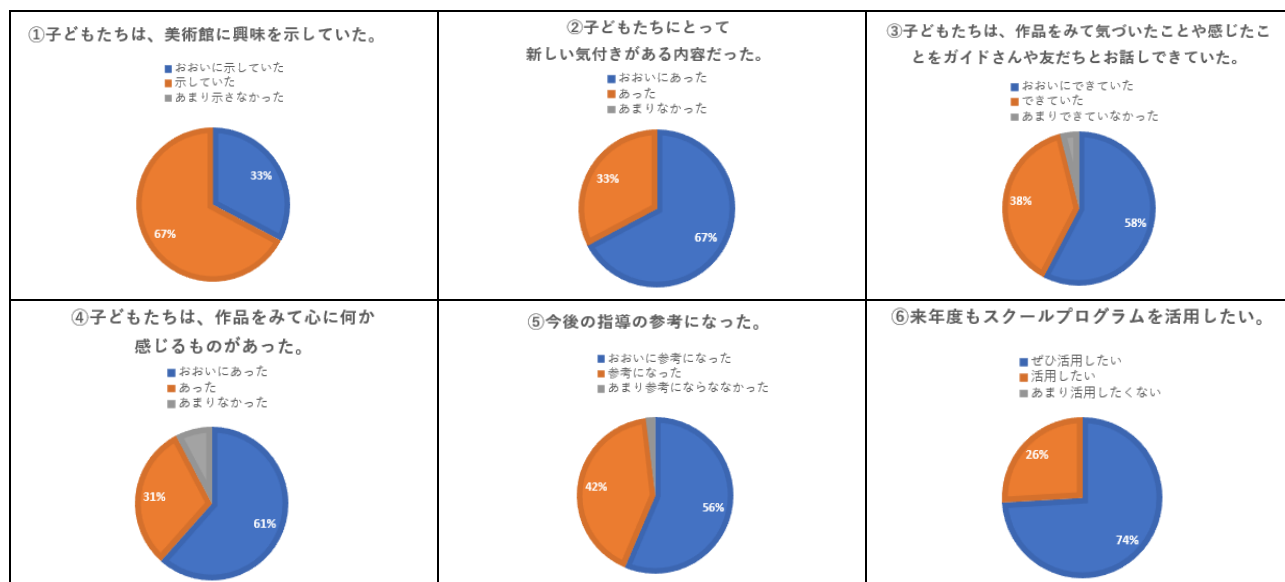
② 先生のためのワークショップ 10回 637名



③ 美術館を劇場化する/バンブーシアター 講師：穴井豪（コンテンポラリーダンサー）・鈴木広志（ミュージシャン）・江川良子（ミュージシャン）・市川平（特殊照明作家） 5回 67名



2. アンケート結果より



上記のように、全ての項目において90%以上の肯定的な回答が得られた。

以下の参加者の声は、アンケートや実施後に学校・園から送られてきたお礼状から抜粋したものである。

- ①OPAM に行くまで美術には全く興味がありませんでした。少しずつ興味が出てきました。(生徒)
- ②ピンポン玉などの材料を使ったことがなかったので、いつもよりいろいろアイデアが思い浮かびました。(児童)
- ③自分で考えたり、友だちと意見を共有したりすることで、あらためて美術の「無限」を感じました。(児童)
- ④山の上に立っていた民たちが、次に進む山を見つめている様子がとても心に残りました。(生徒)
- ⑤子どもたちが何を感じ、それをどう表現するか？ 私たち保育者の美術に関するスキルアップが必須であることを痛感しました。職員さんの声掛けや注目させるポイントは実に興味深かった。(先生)
- ⑥専門性の高い方が来てくれると子どもたちにとってわくわくと刺激になります。ぜひ来年もよろしくお願いします。(先生)

3. 報道された記事



R6 年 12 月 6 日 大分合同新聞社



R6 年 12 月 10 日 大分合同新聞社

【以下、前項の情報が掲載されている URL】

①ゆくゆく美術館

(1) 美術館による学校・施設へのアウトリーチ

体感 <https://x.gd/walv9> 絵の具 <https://x.gd/hF9r1>

鑑賞＋工作 <https://x.gd/Gc5bd> テンペラ画 <https://x.gd/hAQv4>

(2) 美術館による学校・施設往還型ワークショップ

体感 <https://x.gd/ZIEcl> ・一緒に見る <https://x.gd/hbza9>

工作 <https://x.gd/jjiDY> ・一緒に見る <https://x.gd/yzfTU>

(3) アーティスト招聘による学校・施設へのアウトリーチ

<https://x.gd/iMsYg> <https://x.gd/W5BIA>

<https://x.gd/jlmv7>

②先生のためのワークショップ

<https://x.gd/CIOQ0> <https://x.gd/1x8tV>

<https://x.gd/q1pz5>

③美術館を劇場化する/バンブーシアター

<https://x.gd/9Ah1A> <https://x.gd/qBFhP> <https://x.gd/oCo83>